

- グレグ／とーちゃん
 - 目的
 - 攻め入る地形と防御規模確認
 - 結果
 - スロメル皇子「君たちなら1、2日、レンジャーいるパーティか、君単独なら、どこでも1日位でいける距離だ。」
 - 彼奴らの兵站集積所であるヌルブ村には河族が集結しているというしな。
 - 既出情報確認
 - 山賊はHuman.
 - ノールパトロール隊は装備から類推すると1隊に思えます。
 - 濠には溜まっているだけ
 - 地図上壁面にあるの▼っぽいのは銃眼って考えてよい
 - ゴブリンを率いるホブゴブリン・リーダーの鎧（ハーフプレート）と山賊の頭目の剣（ロングソード）は業物にみえます。この地域の荒くれ者やヒューマノイドはロートミル山脈周辺諸国産出の武具を使うことが多いのですが.....どうやら彼らの装備は北方武器輸出国...おそらく山賊王国[Bandit Kingdoms]のもので、かの地の戦争ブローカーが敵陣に入り込んでいると、貴方は目星をつけます。
 - 山賊はシミターとクロスボウ、ゴブリンはシミターにショートボウ、ホブゴブリンはロングソードにロングボウ、バグベアはモーニングスターにジャベリン、ノールはスピアにロングボウで武装しています。
 - 部隊規模：山賊はローテ、ゴブリンは固定メンツのなかでローテをしているようです。よって敵兵力は、山賊は12～24、ゴブリンは10～15人と想定されます。（加えて4匹のノールの小集団）
 - 侵入口の確認
 - 水深と水幅、侵入口のサイズ 移動困難扱いの有無：濠の幅および深さは10フィートほど。運動／水泳の必要あり。侵入口の門は10フィート。困難地形ではない。
 - 正面の門と跳ね橋／引上げ橋は老朽化がすすんでいる模様。正面の門はつねに閉じており、パトロールのノールはここから出入りしない。彼らは左中の城壁くずれから出入りをしている（困難地形扱い）。
 - 入口の前には、（濠から）独立した水たまりがあり、鷹は水底に一瞬、金属の光沢をみとめました。
 - 外壁の高さは10フィートで、たくさんの手懸かりがある。が苔と粘液に覆われていることから登攀は難しい（〈運動〉難易度15）。
 - 右下の角の城壁くずれ：補修されている模様。

- 右上の塔の城壁くずれ：補修されている模様。
- 近辺の他の入り口の有無（よくある隠し通路的な）もの：とくになく見えます。
- 濠の深さ：濠の幅および深さは10フィートほど。運動／水泳の必要あり。流れはほとんど無い。
- 夜に明かりがともる場所：無し。どうやら階下に司令部があるもよう（笑）
- たまに見回りがもつのは松明およびかがり火。
- ミーポ／コボルドの生け捕りと戦利品の獲得、Meepoの持っている情報を引き出す
 - 「ミーポ[Meepo]負けない、大切なもの[precious]ゴブリン鬼より取り戻すため！」
 - どこから来たか「ミーボみそこなうな！味方売るできない！トワイライトホール（地図の右中央、河の先にある滝。）のこと教えられない！！」
 - 住処に仲間は何人くらいいるか「おいらの部族、ゴブリンに殺された。族長しんだ、My Precious“ヴェスパターク”奪われた。ミーボ、一人ボッチ……。」
 - Preciousはどここのゴブリンに持っていかれたのか「赤目族（濠要塞にいるゴブリン族。赤き手部族の尖兵）、強くはないが卑怯で数が多い。」
 - 取り返す？「My Precious“ヴェスパターク”、コボルド族の宝！偉大なる緑竜エスメラルダのワームリング！」
 - 濠要塞「ゴブリンいっぱいいる。いっぱい3より多い。」
 - 濠要塞に秘密の出入り口「昔、彼らの先祖が作った秘密の地下道があり、ミーボそれを知っているが知らない。」（殴られる前に、背中の鱗を見せます。）一枚、色の違う鱗があり、それをよく観察すると、それ精密画になっており濠要塞周囲の地図とそこからの伸びる、秘密の脱出回廊の絵が記載されています。絵が正しければ濠要塞から500-550フィートほど離れた、茨の茂みの中の岩がその隠された入口のようです。
 - あそこのホブゴブリンより強い奴はいるか？「ホブ強い。だがオーガもっと強い。」
 - Preciousとは何か「ヴェスパターク！」
 - マップ上のポイントで知っていることを全部（行ってはならない場所など）「水たまり、かえる、アンディ危険」
 - 何か役立つ技能なりクラスなりを持っているならその情報「ミーボ、罠作るの得意。隠れるのと侵入するの大得意。」
- 目的
 - ガートと親交を深めるw
- 結果

- 飲み比べ、バードから Belt of Dwarvenkind をゲット
- シェイミ/プラズマ星人
 - 目的
 - 副官の数と各副官の名前・居住地・嗜好を知り、誰が一番楽に懐柔し易いかを知る。
 - 結果
 - 子爵の部下のレンジャー、エルモ[Elmo]
 - 1マイル離れた場所で、儀式に適切な場所を見つけ、濠要塞（※3）へ向かわせます。昼は鷹、夜は梟をつかい偵察飛行をした結果、濠要塞の上から見た地図の作成に成功します。
 - <http://www.geocities.co.jp/Playtown-King/2220/ADDAHP/dac2016.htm>
 - 明け方と夕方、ノールの小部隊（4匹）が、偵察/パトロールに出かけるのも確認しました。また貴方が現在野営している近くで、コボルト（複数）の足跡を発見しました。ここで帰還するもよし、もちろん行動を続けてもかまいません。
 - 目的
 - 寝ぐらと敵戦力の偵察
 - 結果
 - ナラグの拠点
 - 急峻な丘の麓に穿たれた洞窟と、その手前に張られた大小の天幕があります。
 - 大きな天幕は洞窟の入り口の両脇に1つずつ張られています。その周囲を囲むように13個の小さな天幕が位置しています。
 - 大きな天幕は人間が、小さなものはノールが使用しているようです。
 - 天幕の中心には石を円形に並べただけの簡単なかまどがあり、薪が燃えています。
 - 洞窟の中に明かりはありません。天幕の周囲を人間とノール達が行き交っています。時折双方の間に軽い諍いが起こるものの、その都度人間側のリーダーと思しき者が仲裁に入っています。
 - しばらく観察を続けた結果、現在この場にいるのがノールが6体、人間が8人であることが分かります。
 - ノールの装備：Glaive, Longbow, Chain Shirt
 - 人間の装備：Longsword, Shortsword, Heavy Crossbow, Splint
 - 人間リーダーの装備：Scimitar, Dagger, Studded Leather
 - 洞窟の入り口から10ftほどの壁面は、粗削りの壁に穿たれた小さな穴に押し込まれた、人間やドワーフ、ハーフリングの頭蓋骨で飾られています。入り口から10ftほど進むと、右手に半径7ftほどの空間があり、そこには齧られた痕のある骨が散乱しています。その先は左右二手に分かれています。あなたが見通せる範囲(30ft)には特に

何もありません。右手からは風の動きを感じ、左手には何者かの気配を感じます。

- エリシオン／とけた
 - 目的
 - ライチャスホスト内の情報収集
 - 内容
 - キャンプ内での評議員同士の力関係や考え、勢力間での問題はないか、など各勢力の現状での様子を探りたいです
 - 結果
 - スロメル皇子「我々が知っていることはそう多くはない。奴がディスプレイサー・ビーストに乗っていること、配下が全員並の群であれば頭になれるほどの精鋭揃いであること、第一の副官として愛人を囲っていること」
 - 「愛犬を囲っていること、そしてナラグの拠点の場所くらいのものだ」
 - スロメルは、ライチャス・ホストのキャンプ地から20マイルほど離れた場所にある丘を示します。
 - ホストの一般兵の士気：低下
 - 敵は我方の三倍以上の勢力らしい。敵にはデーモンやでかい化け物もいるらしい。ごろつきの寄せ集めが相手ではなかったのか。人間／ドワーフ／ノームは信用できん。話が違う！
 - ウィルフリック子爵は副司令官&参謀長役として、スロメル皇子のサポート役に徹しています。評議会のなかではやはりこの二人が中心的です。
 - シーフの暗号を使って連絡をとりあっている兵士の一団(3人)
 - 彼らは兵士間の間であって、上記不安を増加させている。
 - 目的
 - ライチャスホストのキャンプからナラグのねぐらまでの間の土地の偵察
 - 目的
 - 皇子に聞きたいこと
 - キャンプ内で暗躍する三人組の監視・報告
 - 監視・報告が終わった後の逮捕
- ウーミック／回転翼
 - 目的
 - ライチャス・ホスト側の兵站事情について、軍営の倉庫に忍び込むなり、兵士の食事風景などを観察しておきたいです。正直、ただ要塞を陥落して武功を上げるよりも分捕品を積み上げた方が兵士の士気を鼓舞すると思うんですけどね。3度の飯がヒーローズ・フィーストな幹部さんたちには受けのいい話じゃないですけど。
 - その上で、要塞の物資を搬入、搬出している補給部隊がいないか調査

したい所です。(もしいたなら)、彼らが門を通る際に門番にどう確認を取っているか、そもそも顔見知りしかいないのか、それとも符丁や通行手形があれば非面識の者でも通れるのか、観察して確認しておきたいです。

- 現状、潜入工作の基本である「忍び込み」か「トロイの木馬」のどちらになるかは未定ですが、トロイが使えるか切り口を探りたいです。

- 結果

- サーティンはHelm of Comprehend Languagesを貸してくれる
- ライチャス・ホストから物資を横流している模様はありません。ただし、確かに不和や不平を増長させているグループは見かけます。
- 一転、濠要塞へ偵察：
 - 物資を搬出している補給部隊はあります。
 - 濠要塞の北方へ伸びるあまり使われていない（整備されていない）道を馬車で搬送しているようです。馬車は夕方くらいの時間に濠要塞の左下（南西）で止まり、陽が落ちると、そこで合図／符牒（ランタンを2度振る）を出します。すると西側の破損部分から濠要塞の兵士が出てきて、なにか...おそらく割符を符号させ確認した後、人海戦術で搬送します。大きな荷物の場合（夜なので判別はつきませんが）Lサイズの人型クリーチャーがでてきて搬送します。
 - そんな搬送荷物の1つに、奇妙な荷物がありました。ワインを入れる大き目の樽が3つあるのですが、微妙に揺れ動きます。とゴブリンが出てきて「動くじゃねえ、おめえらは、ラヴァッシュの餌よ。食い残しは、穴底のグールどもにくれてやるかよ、安心しなとゴブリン語で話かけた後、樽をグルグルまわし沈黙(?)させたのち搬送します。

- チュニス/psycoark

- 目的

- 濠要塞内部の見取り図作成、構成員の部屋割り、通信の傍受。

- 結果

- 事前情報 (byグレッグ) どおり、正面の門は使われておらず、側面の崩壊した場所から敵は基本はいりこんでいるようです。
- 中庭に入り込みます。
 - 昼なら山賊が、夜ならゴブリンが歩哨にたっています。そこそこ訓練（あえていうと練度は山賊、士気はゴブリンが高い）されていますが、サンダークラッカーの侵入には気づきません。
 - 基本的には自分たちの言語を使っていますが、共通語、そしてときおり（貴方の聞き覚えの無い）高圧的な言語で、命令や意思伝達がなされています。
- 中庭より北東の入口の二枚扉（基本昼は空いて、夜はしまっている）から奥へ向かいます。

- 濠要塞上部の中が大体あきらかになりました。（サポートページ参照）
- 以下はインプの探索結果を、チュニスが描き上げたもの。
 - 2) 空の塔
 - クモの巣と瓦礫でいっぱい。
 - 3) 中庭
 - 常時見張りがいます。
 - 4) 大広間
 - かつては大きな謁見の間であったようですが、現在では山賊の根城とかしています。山賊の首領、名はエンザーと判明。10人前後の山賊が常時おり、部屋には寝具や物資が乱雑に積まれています。
 - 5) 黒の間
 - 黒の間と呼ばれている部屋で首領エンザーが使っている部屋。常時鍵がかかっているのですが、飯を運びこむときには、華麗に中に入り込みました。中には黒い敷石が一面張られており、壁には墨かタールで塗られた、黒檀色のタペストリーがかかっています。エンザーがため込んだお宝を入れている箱がすみにあります。鍵はエンザーが所持。
 - 6) 昇り階段
 - 本来あった2階への階段。現在壊れています。
 - 7) 降り階段
 - 擦り切れた階段が地下（ダンジョンレベル2）に下りています。
 - 8) 空の部屋
 - それぞれの部屋には腐った内装と崩壊した上層部の瓦礫が満ちています。
 - 9) ドレイクの巣
 - もと動物の厩舎であったところ。現在山賊が巨大なトカゲを飼育・調教しています。（匂いで気づかれそうだったので、遠目で撤退）
 - 10) 兵舎
 - 2人の山賊がこの部屋を共有している。
 - 11) 踊り場：階段から下りてきた場所。階段は濡れていて滑りやすい。地下は暗く、照明はありません。
 - 12) 貯蔵庫：常時施錠されています。どうやら倉庫の模様。
 - 13) 拷問部屋：拷問部屋の様です。しばしば悲鳴が聞こえてきます。
 - 14 a) 待機室：奥の部屋へいく前の待機室。メモ発見。下記手がかり参照。
 - 手がかり2 B・副官の日記

－ 濠要塞でヒューマノイド部族の徴募を開始、予想以上に戦力がたくさん引っかけた。その中から、ノールを徴用することにしたのだが、連中は全然信頼がおけなかった。やはり犬王の影響力はそれなりに認めねばならないということか。だが、非常に忠実なヤツも見つけた。オグルのラバッシュ[Lubash]だ。奴なら誰もが怖がるので、二層正面入口の守り任せておける。捕虜の人肉をキープしておかなくてはならないのが、ちと面倒くさいが。暇な時間を利用して、死体からゾンビを作り警護の増強としよう。ホームレイ[Hommler]への潜入工作成功を収めつつある、村が無くなる日も近い。“神殿”は既に村にスパイを送り込んでいる。ホームレイが我らが、既に手中にしたも同然だ。いい加減雑事から解放されたい。そもそも私は、レアス様を権力の座へ復籍させる先駆けとして、この地へやってきた。憎き蜘蛛の女王により、かつては悪の中心地として栄えていた場所である。野放図な空虚は、新しき聡明で力強く聡明な指導者で埋めるべきだ。……“炎のチャンピオン”の忠実なる下僕
グレン

－ 14b) 扉をあけようとしたところ、グリフが浮かびあがります。火(日)時計の紋章が浮かび、時刻をしめすように高速で火文字が消えています。『合言葉！パスワード?!...えーと“山”』その瞬間、グリフは炸裂し、サンダクラップは雷鳴の衝撃につつまれます。

－ エルダン／仮名太郎

－ 目的

－ 寝ぐら外周の地形調査、外周部から分かる敵戦力の偵察、脱出路の確保

－ 結果

－ ナラグの拠点の調査

－ 死斑の浮いた萎びた肉が骨格に張り付いただけの人型クリーチャーが数体、落ち窪んだ眼窩の奥に、禍々しい瞳を赤く燃やしながら徘徊しています。風に乗って凄まじい悪臭が漂ってきて、気持ちの悪い夜を死の匂いが汚しています。

－ 丘の北東側に洞窟の入口を発見します。：2本の枯れ木の間、茨の茂みと雑草に覆われた洞窟の入り口がひっそりと口を開けていました。地面を確認すると、頻繁に出入りがあることが分かります。恐らく、先ほどのクリーチャーはここから出て行ったのでしょう。空気の流れがあることから、別の入り口(恐らくは天幕が張られていた洞窟)に繋がっているものと思われます。

－ 目的

－ 寝ぐらの偵察から帰還・報告・再調査

－ ミンダルティスにアンデッドについての知識判定

- 知識判定としてReligion Checkを行ってください。
- 結果
 - ウィルフリック子爵が一本の小瓶を差し出します。「姿消しの靈薬 (Potion of Invisibility)だ。きっと役に立つだろう」
- スズキ_M
 - 目的
 - 敵ヒューマノイド兵士の階級や所属の見分け方や仕草の確認
 - 敵ヒューマノイド兵士の武器及び装備品×人数分の調達。
 - 結果
 - 敵は大きく4つのカルト軍勢（火、地、水、風）に分かれており火が一番優勢で、風が一番劣勢です。それぞれにヒューマノイド軍勢がついています。ヒューマノイドは部族単位で雇用されており、それぞれ装備の一部に部族とカルト印となる“色”をつけています。赤：火、茶：地、白：風、緑：水。部族はたとえばゴブリンの“赤き手”族なら、血のような紅い手を盾や鎧に描いています。基本的に種族間では、種族の言葉を使っていますが、カルト軍勢では、それぞれのカルト言語、つまり火なら“火界語”の簡単な符牒で命令をしているようです。
 - サーティンが熱く説得してくれます。「わかった、今回は卿らの作戦に物資と人材を回そう。
 - 目的
 - 士官達の間での情報収集：スリードラゴンアンティのプレイ中に、何気なく以下の話しを振って反応を見ます。基本的に返答が真意かどうか看破を試みます。
 - 結果
 - オーティスの人となりと出奔の理由：オーティスは優秀な戦士であるが、同時に最高に腕の良い鍛冶師であり、フラネスでも5人しかいない“マイト”の称号を持つ人物。モルデンカイネン率いるパワーグループ“Circle of Eight ”の一人でもある。
 - ウィルフリックの部下であるエルモは彼の弟：寡黙で武具・武器に対して真摯な姿勢であり、戦士として経験を積んだのも最高の武器を作るための一環。最近、スロメル皇子から、祖父伝来の剣の再生を依頼されており、故郷であり本拠地であるホームレイに帰って作業をしていたがここ数日、姿を消した模様。
 - 相手を混乱させ続け、連携・対応する暇を与えないことと、味方が連携、そして首脳部の指揮通り、動くかということと、
 - 上層部（司令部＝評議会）には内通者はいないだろうと述べます。
- 既出モンスター
 - アルファ：
 - 2_67 ノール
 - 2_67 山賊部隊
 - 2_47 ナラグ（犬王）

- 2_47 ディスプレーサービースト
- 2_47 副官の愛犬
- 2_97 死斑の浮いた萎びた肉が骨格に張り付いただけの人型クリーチャーが数体、落ち窪んだ眼窩の奥に、禍々しい瞳を赤く燃やしながら徘徊
- ベータ：
 - 2_48 ノール部隊（周辺パトロール）
 - 2_48 山賊（頭目は魔法のロングソード）
 - 2_48 ホブゴブリン（魔法のハーフプレート）夜間警戒
 - 2_48 バグベアー：夜間警戒
 - 2_48 ゴブリン；夜間警戒
 - 2_78 クモ？
 - 2_78 ドレイク（飼育）
 - 2_78 コボルト（ミーポ）
 - 2_80 ゴブリン（レッドアイ部族）
 - 2_80 オーガ
 - 2_80 かえる
 - 2_80 緑竜（ヴェスパターク＝ワームリング,エスメラルダ＝アダルト以上？）
 - 2_91 ラヴァッシュ（固有名詞かも）
 - 2_91 グール
-